

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

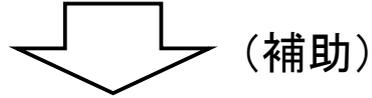
事業名	巡回支援専門員整備事業		担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	障害福祉課地域移行・障害児支援室		辺見 聡		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助		関係する計画、通知等	巡回支援専門員整備事業の実施について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保育所等の子どもやその親が集まる施設・場に巡回支援を実施し、障害が“気になる”段階から支援を行うための体制の整備を図り、もって発達障害児等の福祉の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	発達障害等に関する知識を有する専門員が、保育所等の子どもやその親が集まる施設・場への巡回支援を実施し、施設等の支援を担当する職員等に対し、障害の早期発見・早期対応のための助言等の支援を行う。 (補助率)国:1/2 市区町村:1/2							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	156	267	378	
		補正予算	/	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	/	
		計	/	/	156	267	378	
	執行額	/	/	134	/	/		
	執行率(%)	/	/	86%	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	発達障害等の早期発見・早期対応の増進を図ることが目的であるため、定量的に成果目標を示すことは困難である。		成果実績		—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業実施自治体数		活動実績 (当初見込み)		—	—	70自治体	118自治体
					—	—	66	113
単位当たりコスト	(1970955 円/1自治体あたり)		算出根拠	134,025,000円(平成23年度変更交付決定)/68自治体				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	巡回支援専門員整備事業	267	378					
	計	267	378					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	保育所等の子どもやその親が集まる施設等を巡回し、障害が「気になる」段階からの支援を行う事業であることから、支援を必要とする者も多く、優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	発達障害者支援法において、早期発見・支援のため必要な措置を講ずる事は国の責務とされており、地域において大きな差違が生じないように、国で実施することが望ましい。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	事前協議の段階において、コスト削減に努めており、本事業に必要な経費のみ補助の対象としている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	施設等において支援を担当する職員や障害児の保護者に対し、助言等の支援を行うカウンセラー等の謝金等、事業目的に即した真に必要な費用及び使途となっている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	保育所等の子どもやその親が集まる施設等を巡回するなどにより実効性の高い手段により事業を実施している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	地域における保育所、幼稚園、子育て支援拠点施設、児童厚生施設、集団健診等において、週3日程度計画的に巡回支援を行うなどにより適切に実施されている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	発達障害については、早期発見・支援の必要な措置として発達障害者支援法において講じていることから、活動実績は徐々に増えている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
	点検結果	<p>本事業の実施自治体数は、予算及び事業実施見込みを増やしているが予想を上回る申請が来ている。発達障害においては早期発見、早期支援の必要性があることから、今後も自治体の参画、予算の計上が増えることが予想される。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、発達障害児・者の早期発見・早期対応のための巡回支援を行う経費であり、今年度の執行においてもニーズが高いため、必要性及び執行の観点から予算規模を維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	156

※平成23年度実績を記入

厚生労働省 134百万円

巡回支援専門員整備事業に必要な費用についての支弁



指定都市、中核市、特別区(66)

134百万円

事業の実施に当たっては、事業の全部または一部を社会福祉法人、NPO法人等であって適切な事業運営ができると認められたものに委託できる。実施主体は、委託先に定期的に報告を求める。



(委託)

中野区 委託法人 15百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託	全国重症心身障害児(者)を守る会への委託費	15			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	巡回支援専門員整備事業実施の人件費	15			
計		15	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都中野区	巡回支援専門員整備事業	15		
2	栃木市	巡回支援専門員整備事業	8		
3	長崎県	巡回支援専門員整備事業	7		
4	高崎市	巡回支援専門員整備事業	6		
5	東近江市	巡回支援専門員整備事業	5		
6	足立区	巡回支援専門員整備事業	5		
7	滋賀県日野市	巡回支援専門員整備事業	4		
8	朝霞市	巡回支援専門員整備事業	4		
9	松本市	巡回支援専門員整備事業	4		
10	福岡市	巡回支援専門員整備事業	3		

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国重症心身障害児(者)を守る会	巡回支援専門員整備事業の実践	15		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					